





○『スタンプ』の『ちず』には学校や駅など、地図作成に使いたい様々な素材が 揃っています。

○ピクチャーキッズではスタンプで『地図記号』を入れることもできます。





○他にも授業で作った詩や短歌などでも同じように作品づくりを行うことができます。○家に持ち帰り、カレンダーとして使うことができます。



○『スタンプ』には植物や動物のほかにも、様々な種類のスタンプが揃っています。○背景に三角形を使うことでピラミッド型で表すこともできます。





○カメラ機能のあるタブレットなどの場合、その場で撮影した写真をそのまま使うことができます。



○写真は選んだ順に取り込まれ、サムネイルをドラッグすることで順番を変えることができます。
 ○『発表』ボタンの後で『がめんをおおきく』を使うと、更に大きく画面いっぱいに表示させる
 ことができます。







ことができるテンプレートもあります。





○写真や図をコピーできるので、短い時間でスライド作りができます。○印刷画面でスライドを複数枚ならべて一度に見比べることもできます。





 ○実験の予想を図で書き記す際は、『スタンプ』の中にある『りか』の素材を 使うと便利です。
 ○保存の際に『JPEG』を選ぶと1枚1枚を画像として保存することができます。
 (実験記録としてデータで残しておきたい時などにお使いください。)





○スライドを追加することで二つの図形を比べることができます。
 ○『発表』ボタンを押した後で、発表中のスライドにペンや消しゴム(全消し)
 を使うことができます。







○対象が小さくなってしまった写真でも、拡大して
 『おえかき』の中にあるはさみアイコンを選択すると
 表示範囲外を切り取ることができます。





○画用紙に描いた下描きをカメラ機能で撮影して複数の色分けを 試すこともできます。

○本番の色塗りの前に、絵の具の色混ぜ機能で色を作るシミュレーションをすることができます。





#### 活用の流れ

#### ①写真を撮る

『しゃしんをとる』を選び、使いたい写真を撮影する。 (カメラ機能がない場合は事前にデジタルカメラなどで撮影した写真を取り込んでおく)

#### ② 飾り付けをする

スタンプやペンなどで飾り付けをする。

#### ③ 印刷して目標などを書き入れる

#### 活用のメリット

○カメラ機能のあるタブレットなどの場合、その場で撮影した写真をそのまま使うことができます。



○『スケジュール』から学校行事や誕生日など、自分の計画を入力することができます。 ※キーボード入力の出来る小学校高学年以上向けです。





○画像を入れてから『編集』に飛んでトリミングなどをおこなうことができます。○吹き出しや矢印など、発表に使える素材を『イラスト』から使用できます。



自分の名前などに変える。



## 活用のメリット

○タブレットの場合は、『カメラ』から直接写真を撮って取り込むことができます。





活用の流れ

① 写真を取り込む

『開く』から使いたい写真や画像を選ぶ。

- ②『切り抜き』から『トリミング』を選ぶ
- ③『多角形選択』で切りぬきたい 対象の周りに点を置く------

できあがったら『完了』を選択。

※『ぼかし効果』のスライダーを右に動かすと縁の部分をぼかすことができます。

④ 保存の際にファイルの種類を『JPEG』から『PNG』に変える

## 活用のメリット

○ファイルの種類を『PNG』に変えることで切りぬいた部分を
 透過した状態で画像を使うことができます。
 ○描画機能で背景に使う絵を描くこともできます。









活用のメリット

○絵を描く際には『コピー』を使い、動かしたい部分を消して描く 作業を繰り返すとスムーズにつくることができます。

○写真を背景にして絵を描き、組み合わせてアニメーションをつくることもできます。

学年	教科	学習活動
小学5~6年	XI	コマ撮りアニメーションをつくる 前のフレーム表示でキレイな仕上がり!
まに	<b>Eうのぼうし</b>	
		Ramanan + man + -
使用可能ソフト	・ 使用メニュー	使用機能など
D		
活用の流れ		
<ul> <li>① テンプレートを選ぶ</li> <li>テンプレートから目的などに合わせて、アニメーションの 解像度(カスタム、1:1、4:3、16:9)を選ぶ。</li> <li>② 写真を撮る 『コマを追加』(もしくは『追加』)でコマを増やし、 『カメラ』で写真を撮る。</li> <li>③ プレビューで確認して、完成したら動画を書き出す</li> </ul>		

- ○『前のフレームを表示』にチェックを入れると前のフレームを トレスした状態で撮影することができます。
- ○『保存』をする際にファイルの種類から『デイジーシリーズ独自 フォーマット』を選ぶと続きから作業を行うことができます。





#### ① 写真を取り込む

デジタルカメラなどで撮った写真を取り込むか、『カメラ』で作品にしたい写真を 撮影する。

#### ② ペンなどで描画する

写真の特徴を生かしながら想像を広げて着色する。

#### 活用のメリット

○『デイジーピクチャーキッズ 2』や『ピクチャーキッズ』でも同じように作品をつくることができます。



○複数選択することで一気に画像を取り込むこともできます。
 ○プレゼンテーションソフトで作成したスライドや、ホームページに貼り付ける素材として使うこともできます。



・切り抜き - トリミング 画像を好きな形に切り抜く。

・**かざり** スタンプ、ころころスタンプ、 フレームを選んで飾り付ける。







#### ② ページを作る

『画像挿入』から写真を取り込む。もしくは『ペン』から『ペンの種類』を選んで絵を描く。 (『背景』を変えることで印象が変わります)これを繰り返してページと表紙をつくっていきます。

#### ③ 印刷して組み立てる

#### 活用のメリット

○他にも修学旅行などの学校行事のまとめとしても使うことができます。○制作途中のデータを IBN (独自フォーマット)保存をすることで、次回の授業で再開することができます。



○任意の音楽を入れたスライドショーを作ることができます。○デイジーピックスが入っていないパソコンでもスライドショーを再生することができます。







活用の流れ

① 本のタイトルや紹介文を書き入れる

#### 2 装飾する

『背景』を選んだり、『画像』から関連した写真や画像を入れて飾り付けをする。

#### ③ 印刷する

『印刷』内で任意の用紙サイズに変更して印刷する。

#### 活用のメリット

○『文字』は文章ごとにブロックのように分けられるため、自在に配置を変えることができます。○ペンの機能で自分が描いたイラストを入れることができます。



○付属の『+学校素材集』からもイラストを使用できます。○白地図を取り込み任意の場所だけ残してトリミングをしたり、白の部分を透明にして使うことができます。



『作品づくり』の『ポスター』で写真や文字の配置を決める。

## 活用のメリット

 ○複数の写真を組み合わせた画像をつくることができます。
 ○Tシャツ型の枠(別途用意)を使うと画像を配置してデザインする ことができます。



○『ポスター』作成画面内で挿入した写真をそのまま編集することができます。

# 付録

絵の具で色をつくろう



「ピクチャーキッズ」「デイジーピックス」では、"絵の具"で色混ぜ してお好みの色を作り、絵を描くことができます。 このページでは上手に混色するためのポイントをまとめましたので、 子供たちへの操作説明の参考資料としてご活用下さい。



# きれいに混ぜる方法

①【色を混ぜる部屋】は広く使う。

②2色目の絵の具は、1色目に伸ばした 絵の具のやや外側から混ぜる。

③小さく円を描くように混ぜる。



# 【にじむ】効果について

【筆をあらう】を選択してから描画した部分を クリックまたはドラッグすると、絵の具で描い た部分に水を含ませたような「にじみ」の効 果を表現することができます。





## 付録 アートギャラリー









○〔ふでをあらう〕を選択すると混色の途中で出来た色も パレットから拾って使うことができます。









○絵の具を混ぜて作った色で色を吹き付けることができます。 ○型の組み合わせで出来た形を楽しむことができます。







「デイジーピックス」のアニメーション機能を使うと、 色々な作品をつくることができます!



ここではすぐに取り入れることができるアニメーション作成のポイントを 幾つかご紹介します。



用途については上記をご参考ください。

(どのテンプレートもパソコンやタブレットで完成した作品を鑑賞するには十分な大きさです)

# アニメーション作成のポイント① 【機能を有効に使う】

コマのコピー



コマの画像や描いたイラストがまるごとコピーして 動かしたい部分だけを変えていくことができます。

秒数を変える 次コマへの時間 1.00 利 コマの表示秒数を一括で変えたり、一つのコマ だけ変えたりすることができます。 ✓ 現在の間隔を全てのコマへ適用 (例:タイトルのコマだけ秒数を伸ばして表示する、など) < 🔲 追加 **⊡** :Ľ– 1 削除

# アニメーション作成のポイント② 【イラストの拡大と縮小】





掲載されている作品は弊社ホームページ内『画像の学習.com』 (URL:www.gazonogakusyu.com/) でも見ることができます。 作品づくりの参考や授業での提示例などにお使いください。

